



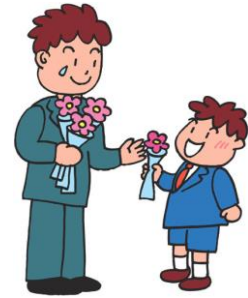
開知

令和7年3月24日号

佐世保市立世知原小学校
校長 兼 正晴

ありがとうございました

日本語で一番美しい言葉だと言われています。
いつも何気なく使っているようで、
改めて伝えるのは恥ずかしい言葉でもあります。
いつの頃からか、これが最後と感じたとき
伝える言葉は「ありがとう」しかないと思うようになりました。
最後の言葉、「ありがとうございました」。



あなたに会えてほんとうによかった
うれしくて うれしくて 言葉にできない

作詞、作曲 小田和正

お世話になりました。

短い3年間でした。子供たちの笑顔に助けられた3年間でした。全力を尽くし、日々努力を重ねてまいりましたが、ゴールは果てしなく遠く、掲げた目標「開知の学び」の重さを痛感するばかりです。

今年度は、創立150周年事業に取り組み、子供たちにとっても思い出に残る1年となったのではないのでしょうか。胸に刻まれた世知原小の誇りを今後も大切にしたいと思っています。また、地域の皆様の温かさに改めて感じた1年でもありました。学校は、子供たちのものではありませんが、それだけでなく地域の宝物であり、たくさんの思いが込められ今日に至っています。さらに、その思いから受け継がれている目に見えない伝統は、子供たちの大きな支えとなっていることは紛れもない事実だと思います。世知原小には、世知原小の伝統があることを確認した創立150周年の年でした。

私も、卒業生として、我が世知原小学校、永遠に・・・、と心から念ずるばかりです。

この「開知の学び」を保護者の皆様、地域の皆様で継続、さらに発展させていただきたいと思います。

保護者の皆様、地域の皆様には、大変お世話になりました。また、皆様の温かいご厚情、ご支援に感謝申し上げます。ありがとうございました。

今後とも、世知原小学校の子供たちをよろしくお願いいたします。